

# 伝説のトロイ、世界遺産ティリンス 古代文明の発見に捧げた情熱



把手付杯  
前1680-1600年頃  
ギリシア 天理参考館蔵



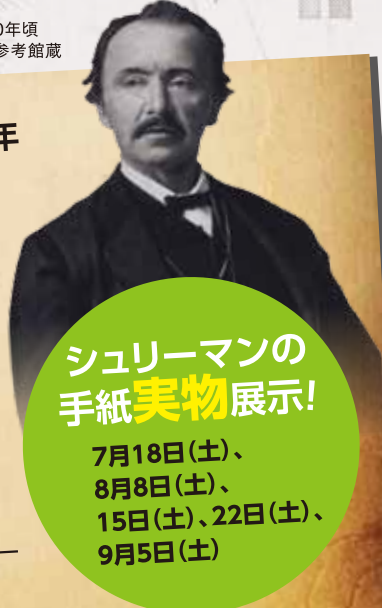
燈壺  
前1370-1190年頃  
ギリシア 天理参考館蔵



ティリンス出土遺物原画  
1884-85年 天理参考館蔵

エス・バイ・エル・カバヤスペシャル 岡山カルチャーゾーン30周年

## ギリシア考古学の父 シュリーマン



シュリーマンの  
手紙実物展示!

7月18日(土)、  
8月8日(土)、  
15日(土)、22日(土)、  
9月5日(土)

初公開!ティリンス遺跡原画の全貌

©bpc / distributed by AMF

2015 7月18日(土)~9月6日(日)

毎週月曜日休館 ※7月20日(月・祝)は開館し、翌21日(火)は休館  
開館時間: 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

岡山市立オリエント美術館 1階展示室

岡山市北区天神町9-31 TEL 086-232-3636 FAX 086-232-5342  
<http://www.orientmuseum.jp/>



コリントス式兜  
前7-6世紀 ギリシア  
天理参考館蔵

入館料: 一般800円(前売650円)、満65歳以上の方・高校・大学生600円、小・中学生400円  
※20名以上の団体は各100円引 ※障害者手帳をお持ちの方とその付添の方1名は無料  
※前売券は当館周辺ギャラリー、プレイガイドでお求めください。

主催: 岡山市立オリエント美術館、テレビせとうち株式会社、天理大学、天理大学附属天理参考館

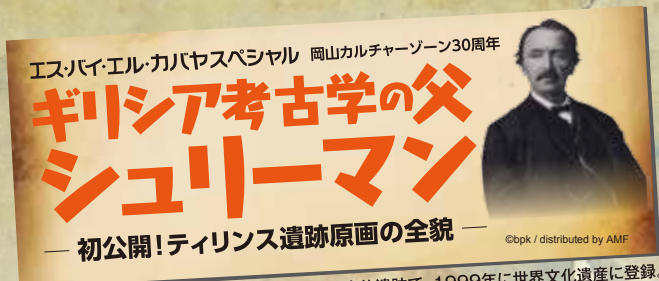
特別協賛: 明日の魅力ある住まいを創る エス・バイ・エル・カバヤ株式会社

企画制作: 天理大学附属天理参考館

後援: 駐日ギリシャ大使館、ドイツ連邦共和国総領事館、ドイツと日本  
Zukunft gestalten  
ともに未来へ、日本ギリシャ協会、岡山県、  
岡山県教育委員会、岡山市、岡山市連合町内会、岡山市連合婦人会、岡山市PTA協議会、  
公益社団法人岡山県文化連盟、岡山オリエント協会、岡山市立オリエント美術館友の会、  
山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、読売新聞岡山支局、毎日新聞岡山支局、中国新聞備後本社、  
oniビジョン、レディオモモ



渦形クラテル  
前4世紀頃 イタリア  
天理参考館蔵



エス・バイエル・カバヤスペシャル 岡山カルチャーゾーン30周年  
**ギリシア考古学の父 シュリーマン**  
 — 初公開! ティリンス遺跡原画の全貌 — ©bpk / distributed by AMF

ティリンス：古代ギリシャ「ミケーネ文明」の代表的遺跡で、1999年に世界文化遺産に登録。  
 ハインリヒ・シュリーマン(1822-1890年)は、ギリシア神話に描かれた伝説の古代都市トロイの存在を信じ、様々な苦難を克服しながら商人として財を築き、49歳になって念願のトロイ発掘を成し遂げたと伝えられています。このサクセス・ストーリーは、自伝『古代への情熱』に生き生きと描かれ、世界中の人々に夢を与えています。シュリーマンはまた、ミケーネやティリンスなどの世界遺産遺跡も発掘し、「ギリシア考古学の父」と呼ばれています。

1885-86年に出版されたシュリーマンによるティリンス遺跡の発掘報告書図版原画28点が天理大学附属天理参考館に所蔵されていることが、入念な研究を経て、2014年に発表されました。本展は、これらの原画を初公開するとともに、世界遺産ティリンス遺跡、シュリーマンの生涯、シュリーマンが魅せられたギリシアやエジプトの古代文化を紹介します。

また、シュリーマンの名を世界に轟かせたトロイの発掘報告書『トロイアの古代遺跡』のほか、ナポレオンの『エジプト誌』や岡山にゆかりの深いおいねの父、シーボルトの『日本』など、19世紀の調査報告書も展示し、黎明期の考古学について解説します。

2015年はティリンス遺跡発掘報告書発刊130年にあたります。本展が、シュリーマンという人物、その偉業を再確認する機会になれば幸いです。



ナポレオン『エジプト誌』初版  
 1809-1822年 天理図書館蔵



シュリーマン『トロイアの古代遺跡』  
 フランス語版初版  
 1874年 天理図書館蔵



ティリンス出土遺物原画  
 1884-85年 天理参考館蔵



ティリンス宮殿壁画断片「牛の背で踊る男」原画  
 1884-85年 天理参考館蔵



精霊像  
 前16-11世紀 エジプト  
 天理参考館蔵



鳥文短剣  
 前1600-1420年頃  
 ギリシア・伝ビュロス出土  
 天理参考館蔵

## 特別講演会

13:30-16:00 ※終了時刻は前後する場合があります。

オリент美術館地下講堂

聴講料500円(友の会会員は300円) 定員80名(要申込)

8月8日(土)

### 「シュリーマンとギリシア先史考古学の誕生」

周藤 芳幸氏 名古屋大学教授

トロイの発見で有名なシュリーマンの著作には、様々な脚色が含まれていたことが明らかにされています。しかし、ギリシア先史考古学という一つの学問体系を打ち立てた学術的功績は揺るぎません。シュリーマンの生涯を辿りながら、その功績の意義を解説いただきます。

8月22日(土)

### 「シュリーマンのティリンス遺跡原画を探る」

巽 善信氏 天理大学附属天理参考館学芸員

世界的に有名なシュリーマンの原画が、本当に日本にあるものだろうか。この疑問から出発した講師の巽さんたちは、ギリシア、ドイツへと渡り、ティリンス遺跡原画に関する調査を続けてこられました。様々な事実が明らかとなっていく知的冒険に招待いただきます。

8月29日(土)

### 「仏教美術の中のギリシア図像 トロイの木馬の東漸を追う」

芳賀 満氏 東北大学教授

トロイが陥落した木馬作戦を描いたギリシア神話は、実はガンダーラの仏伝浮彫にも表されています。詩と史実、ギリシア・ローマ神話と釈迦伝記、ギリシア美術と仏教美術、ギリシアとインド、西と東、シュリーマンが掘り出した世界の広がりにご案内いただきます。

ジュニア・オリент教室特別版

## トロイの木馬をつくろう!

8月3日(月) 10:00-16:00

参加:「シュリーマン展」入館料のみ

定員:小・中学生30名(小学校低学年は保護者の同伴が必要)

休館日に開催しますので、必ず事前に、参加申込をしてください。

ダンボール箱を積み重ねて、参加者みんなで大きな(目標高さ5m!?)トロイの木馬をつくろう!トロイの木馬のお話を聞いて、自由なデザインの木馬をつくってみましょう。お菓子の箱、ペットボトル、トイレットペーパーの芯などで飾り付けをするので、自宅にあるものを持ってきてください。途中退出、途中参加も可能です。詳しくは、オリент美術館へお問い合わせください。



岡山空港からリムジンバス40分、JR岡山駅東口から  
 ① 路面電車:「東山」行きで約5分、「城下」下車、左手すぐ  
 ② 徒歩:桃太郎大通りを東へ約15分  
 ※ 当館には来館者用駐車場はありません。市営天神町駐車場をご利用の場合、当館受付にて割引券(1台1回につき100円)を交付します。